

【大学シーズ情報】 ※図や表などを入れてわかりやすく記載してください。

大 学 名 電気通信大学

研究タイトル	スマートミキサー・音と音の新しい混合方法
研究者の所属学部、学科、役職、氏名	情報理工学研究科 情報・通信工学専攻、准教授、高橋 弘太
技術のポイント	自動的に優先音を際立たせる処理を実現。
現在の研究開発段階	A 基礎研究段階 ・ B 試作段階 ・ <b>③ 実用化段階</b>
技術の紹介	<p>1. 概要 最新の成果の一例は、以下に示すスマートフォン用アプリで体感していただくことが可能</p> <p style="text-align: center;"><b>アプリ: omoide</b></p> <p style="text-align: center;">スマートミキサーの技術を使った最初の製品 →スマートミキサーの良さを世界中に広める目的</p> <p>【製品の概略】 動画に、スマートミキサーでBGMをつけ、タイトルとエンドロールをつける。 簡単な操作で、ショートムービーを作成。</p>  <p>動画 (音声つき) → スマートミキサー → 動画 (音声と BGM) / タイトル / エンドロール</p> <p>動画音声だけでは物足りないことがある。雰囲気伝わらないこともある。</p> <p>アプリ内蔵BGMライブラリ</p> <p>BGMを付加することで、よりエキサイティングな動画に。しかも動画音声も聞き取れる。</p> <p>←この画面は、開発段階のデザインです。アプリ名を含めリリース時には変更されることが有り得ることをご了承ください。</p> <p>最新情報→ <a href="http://www.it.ice.uec.ac.jp/omoide.html">http://www.it.ice.uec.ac.jp/omoide.html</a></p>
研究の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来のサウンドミキサーでは、非優先音の音量を下げるならば、優先音の聞き取りは妨げられないが、非優先音は台無しになってしまう。</li> <li>・イコライザ、コンプレッサ、リバーブ等の処理を自在に操れば、非優先音の音量感を損ねることなく優先音を際立たせることができるが、ミキシングエンジニアなど専門家のスキルを必要とする。また、調整に時間がかかる。</li> </ul>
従来技術より優れている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サウンドミキサーに優先度の発想を持ち込み、自動的に優先音を際立たせる処理を実現。</li> <li>・単に優先音の音量を上げるのではなく、ツボを押さえた調整で優先音が聞き取り易い。</li> <li>・非優先音に対する影響を最小化。</li> <li>・多数のエフェクタの購入が不要で、ミキシングエンジニアのスキルも必要とせず、誰でも高度なミキシングが可能。</li> </ul>

技術の用途イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーオーディオシステム、カーナビゲーションシステム</li> <li>・プロ用、アマチュア用のDAWプラグインソフトウェア</li> <li>・パソコン、スマートフォン、オーディオ機器</li> <li>・スマートフォン用のアプリ <ul style="list-style-type: none"> <li>-動画の音声トラックに、ナレーションを重ねる</li> <li>-動画の音声トラックに、BGMを重ねる</li> </ul> </li> </ul>
中小企業への期待	<p>スマートミキサーを搭載していただける企業や、DAWのプラグインの共同開発が可能な企業を求めています。</p>
知財情報 (ある場合のみ記載 ください)	<p>【出願番号】特願 2015-007380  【発明の名称】ミキシング装置、信号ミキシング方法、及びミキシングプログラム  【出願人】国立大学法人電気通信大学  【発明者】高橋弘太</p>